

# 平成 28 年度事業報告

## 【共通事業】

### 1. 総会

(1) 日 時 平成 28 年 4 月 19 日 (火) 14:00~16:15

(2) 会 場 アオッサ 6 階 601 研修室

(3) 結 果

#### ①基調講演会

(演題) CSR 活動を通じた地域社会への貢献

(講師) 株式会社小松製作所 CSR 室長 倉澤佳子 氏

#### ②総会 \*下記の議案について全て承認 (出席者 56 名/うち 20 名は議長委任)

(第 1、2 号議案) 平成 27 年度事業報告および収支決算報告について

(第 3、4 号議案) 平成 28 年度事業計画 (案) および収支予算 (案) について

### 2. 理事会

(1) 日 時 平成 29 年 2 月 16 日 (木) 10:00~11:30

(2) 会 場 アオッサ 6 階 501 研修室

(3) 結 果 \*下記の議案について全て承認 (出席者 56 名/うち 20 名は議長委任)

(第 1、2 号議案) 平成 28 年度事業報告および収支決算報告について

(第 3、4 号議案) 平成 29 年度事業計画 (案) および収支予算 (案) について

### 3. 福井市環境フェア

(1) 目 的 福井市環境推進会議や会員団体および事業者の環境に関する取組や課題について分かりやすく市民に啓発するため、「省エネルギー・再生可能エネルギー」、「低炭素社会」、「資源循環型社会」、「自然との共生」に関する展示や体験型の企画を通して、市民の環境意識の向上を図る。

(2) 日 時 平成 28 年 10 月 8 日 (土) ~ 10 日 (月・祝) ※第 15 回大和田げんき祭り同時開催

(3) 会 場 福井新聞社 (8 日のみ)、FBC 本社前イベント広場

(4) 協 賛 (50 音順/13 社) 京福バス(株)、(株)田中化学研究所、轟産業(株)、日華化学(株)

日本システムバンク(株)、福井環境事業(株)、福井県環境保全協業組合、フクビ化学工業(株)

(株)法美社、(株)北陸環境科学研究所、(株)増田喜、(株)マルツ電波、村中建設(株)

(5) 出展者 30 (団体/事業者)

(6) 来場者 延べ 7,000 名 (27 年度 5,900 名)

(主な内訳) ・まだまだ使えます! 抽選会 / 350 名

・環境省認定パフォーマーによる「エコロジー&サイエンスショー」 / 270 名

・ジビエ料理 (イノシシ鍋) のふるまい / 600 名 ・バスの乗り方教室 / 150 名

・竹工作 (竹切りレース) 等のワークショップ / 900 名 ・低炭素モビリティ展示 / 650 名

・団体、企業ブース (ステージイベントも含む) / 3000 名 他



まだまだ使えます抽選会



竹工作 (ネイチャークラフト)



竹切りレース



エコロジー&サイエンスショー



バスの乗り方教室



団体・企業出展ブース

#### 4. その他の出展（関連団体との連携）

(9/22) カーフリーデーふくい

会場：ハピテラス

出展内容：低炭素モビリティ（電動バイク、コムス）の展示

(11/19, 20) ユニーエコ博

会場：アピタ福井大和田店

出展内容：エコライフ診断、牛乳パックを使った万華鏡作り



### 【自然創造部会】

福井市の「守り伝えたい豊かな自然」を伝えるとともに、地域の自然環境保護活動を支援する。

部会員（五十音順、敬称略）

氏名	所属
天谷 堅司	サカイオーベックス株式会社
草桶 秀夫	学校法人金井学園福井工業大学
光照 良眞	公益社団法人福井青年会議所
酒井 大祐	福井ライオンズクラブ
重森 正雄	安居の里を守る会
白澤 照久	日本ビオトープ管理士会福井県支部
多田 憲市	NPO法人農と地域のふれあいネットワーク
柳町 邦光	日本野鳥の会福井県
山下 征夫	福井県ホテルの会

#### 1. 部会の開催状況

第1回 5/20（金）	今年度事業について協議し、三里浜での自然観察会及び生き物マップの作成等を実施することとした。 (前期に三里浜の現地調査、後期に来年度の生き物マップ作成のための調査)
第2回 7/5（火）	三里浜に専門家を招き、海浜植物の特徴、三里浜の歴史と現状等について説明を受けた後、生き物マップ作成を中心に協議した。委員から、三里浜に加え鷹巣海岸も加えたマップにしてはどうか、との意見が出された。
第3回 9/8（木）	また、「生き物マップ」作成のスケジュール、来年度の環境教育推進事業に関することを中心に協議した。

第4回 11/15 (火)	生き物マップに三里浜だけでなく鷹巣海岸を加えるべきかどうかを検証するため、鷹巣海岸の実地調査を行ったが、三里浜と鷹巣海岸では環境が大きく違うことから、三里浜に絞ることとした。
第5回 12/16 (金)	生き物マップの原案と、来年度の事業計画案、予算案の検討を行った。
第6回 3/24 (金)	生き物マップ作成の最終検討、来年度実施事業の協議検討を行った。

## 2. 事業の実施状況

### (1) 守り伝えたい自然の保全活用事業

#### 目的

- ・福井市の豊かな自然を守り育て、将来に伝える。
- ・パンフレット「守り伝えたい福井市の優れた自然」の掲載地において、地域と連携した「地域環境保全と地域づくりの両立」と、後世に自然を守り育てる方法を検討する。
- ・多くの市民にパンフレット掲載地の自然に親しんでもらう。

#### 内容

今年度は三里浜の生き物マップを作成する。また、例年開催している「伊自良の里バードウォッチング」に加え、「環境活動普及・推進部会」との連携事業として三里浜での自然観察会を行った。

<自然観察会の実施>

- ・6/4 (土) 三里浜の生き物観察会 (参加人数:23名)
- ・6/5 (日) 伊自良の里バードウォッチング (参加人数:28名)



### (2) 福井市環境フェア 企画展「守り伝えたい福井の里地・里山」

#### ①里地里山をフィールドとして活動する団体のパネル展

#### 内容

「福井の里地・里山」の現状や課題および自然活動団体の活動紹介。

#### ②竹切りレース及び竹の無料配布 (竹切りレース 約900名、竹50本配布)

#### 内容

秋の竹林整備で伐採した竹を利用して、ノコギリで竹を切る「竹切りレース」を実施した。また、希望者に1mに切り分けた竹50本を無料配布した。



#### ③足羽山ネイチャーウォーク (参加人数:10名)

#### 内容

福井市内中心部に残された貴重な里山である足羽山の自然に親しむ足羽山ネイチャーウォークを開催した。当日は、足羽山を散策しながら、専門家からキノコやドングリについて説明を受けた。



### (3) 「足羽三山のSATOYAMAを守る会」との連携

#### 目的

都市部に残された貴重な足羽三山を後世に残すため、「足羽三山のSATOYAMAを守る会」と連携して、里山保全活動を実施する。

#### 内容

- ・4/16 (土) 春の竹林整備 (足羽山): たけのこ約100本収穫 (参加人数:57名)
- ・7/10 (日) 森森フェスタへ出展 (旧竹田小学校): 竹などを使った工作教室を開催 (参加人数:約100名)



- ・9/24（土） 秋の竹林整備（足羽山/八幡山）：竹 32 本を伐採  
\*伐採竹を個人や団体に無料配布  
(参加人数:51名)
- ・10/8（土） 福井市環境フェアへの出展（親子ネイチャークラフト教室）  
\*伐採竹を活用  
(参加人数:約 400名)



## 【エネルギー・資源部会】

地球温暖化防止に向けたライフスタイルの転換を推進するとともに、産学官と連携した環境産業の創出など、新たな取組に関する調査や検討を行う。

部会員（五十音順、敬称略）

氏名	所属
井上 武史	公立大学法人福井県立大学
上口 浩史	有限会社上口モータース商会
川嶋 正巳	公益財団法人ふくい産業支援センター
城崎 敦志	セーレン株式会社
高嶋 浩之	北陸電力株式会社
高橋 裕宣	フクビ化学工業株式会社
谷 拓哉	日本システムバンク株式会社
西田 好宏	学校法人金井学園福井工業大学
皆川 陽一郎	株式会社サンワコン
宮川 敏夫	株式会社田中化学研究所
村中 美紀夫	村中建設株式会社
吉川 守秋	NPO法人エコプランふくい

### 1. 部会の開催状況

第1回部会 6/28（火）	今年度事業についての中間報告と、福井市と連携しながら推進する「低炭素モビリティ導入に向けた事業」について検討した。
第2回部会 12/12（月）	今年度事業の反省点を踏まえた、来年度の事業内容について検討した。
第3回部会 2/10（金）	事業のより効果的な取組と、成果の評価方法について検討した。

### 2. 事業の実施状況

#### (1) 低炭素まちづくり事業（「緑 de 憩いスペース」設置）

**目的** 福井市は1世帯当たり年間電気購入量が多く、温室効果ガス排出量も依然として多いことから、まちなかの緑を活かした市民の憩いの空間を創出し、市民による「緑の創出」と「生活スタイルの低炭素化」を促す。

**内容** 西武福井店（正面・屋上）及び福井駅西口広場に「緑 de 憩いスペース」を設ける。スペースは、多くの来街者がグリーンカーテン（ゴーヤ・アサガオ）の日射の遮蔽効果を体感できる「休憩スペース」と、野菜の栽培を通じて自然にふれあえる「まちなかファーム」とし、それぞれに節電に関する啓発パネルも設置する。

①休憩スペースの設置	
内容	<p>【西武福井店正面】設置期間：6/6（月）～9/9（金）</p> <p>【西武福井店屋上】設置期間：6/6（月）～10/14（金） * 苗植えイベントを実施（小鳩幼稚園 69名）</p> <p>【福井駅西口広場】設置期間：6/1（水）～10/21（金）</p>
	
②まちなかファームの設置	
内容	<p>【設置場所】西武福井店屋上</p> <p>【開園期間】5/15（日）～ 9/25（日）</p> <p>【参加人数】10組（21名）</p> <p>【講習会】講師：(有)見谷ナーセリー 内容：トマトやキュウリなどの苗植え管理方法に関する講習 ・5月/2回 ・6月/1回 ・9月/1回</p> <p>*いも掘りを実施（小鳩幼稚園 30名）</p>
	
③みんなの環境学習 ～ 環境活動普及・推進部会連携 ～	
内容	<p>【テーマ】グリーンカーテンの育成方法</p> <p>【日時】5/15（日）10時～12時</p> <p>【会場】福井市園芸センター</p> <p>【講師】福井市園芸センター職員</p> <p>【参加人数】38名</p>
	

## （2）「夏の節電コンテスト」実施事業

- 目的** 夏場の効果的な節電を促し、温室効果ガスの排出削減を図る。
- 内容** 環境推進会議会員企業と連携して「夏の節電コンテスト」を実施する。節電コンテストには小学生が同居する世帯（500世帯）が参加するものとし、節電のポイントを説明する学習会の開催、メガソーラー発電所やクリーンセンター等の見学会（自由参加）を設定し、夏休み期間中の親子での環境学習の機会を提供する。

①結果概要	
内容	<p>【実施期間】7月～9月末日</p> <p>【参加世帯】547世帯</p> <p>【合計節電量】約 16,000kWh</p> <p>【CO<sub>2</sub>削減量】約 10 t</p> <p>【ベスト削減率賞】7世帯 (1位 50%、2位 37%、3位 27%・・・削減率平均 20.3%)</p> <p>【環境にやさしい取組賞（企業賞）】51世帯</p> <p>【協賛企業（50音順/20社）】 花王カスタマーマーケティング(株)、京福バス(株)、サカイオーベックス(株)、西武福井店 セーレン(株)、高桑印刷(株)、(株)田中化学研究所、日華化学(株)、日本システムバンク(株) 福井環境事業(株)、福井県環境保全協業組合、福井県民生活協同組合、(株)福井新聞社 フクビ化学工業(株)、(株)北陸環境科学研究所、北陸電力(株)、(株)増田喜、 (株)マーベルコーポレーション、(株)マルツ電波、村中建設(株)</p>
	

	<p>*参加者に対し、西武福井店や映画館など14施設にて、期間中の商品や入場料の割引サービスを付与</p> <p>*入賞作品は福井市環境フェアにて展示</p>	
--	---	--

**②再生可能エネルギー発電施設見学会**

<p>内容</p>	<p>【風力発電】森田浄水場 日時：8/7（日）参加人数：14名</p> <p>【消化ガス発電】福井市日野川浄化センター 日時：8/11（木・祝）参加人数：16名</p> <p>【太陽光発電】北陸電力三国太陽光発電所 日時：8/13（土）参加人数：14名</p> <p>【廃棄物発電】福井市クリーンセンター 日時：8/21（日）参加人数：12名</p>		
-----------	--	--	---

**(3) 低炭素モビリティ導入に向けた事業の検討（福井市との連携事業）**

**目的** 環境負荷の少ない交通手段（低炭素モビリティ）の利用促進と、福井国体や北陸新幹線延伸によって増加が見込まれる観光客やビジネス客に対し、新たな移動手段を提供することにより、低炭素なまちづくりを推進する。

**内容** 低炭素モビリティを利用したサービスについて、福井市の関係部局が調査した内容について、検討を行い、次年度以降の取組内容について、アドバイスをを行う。

- (調査項目) ・先進地事例 ・中心市街地のニーズ調査 ・シェアリング事業の実行可能性  
・低炭素モビリティについての市民意識（+普及啓発活動）



**【環境活動普及・推進部会】**

市民の環境保全意識の向上を図り、持続可能な社会の構築のために行動できる人材を育成する。

部会員（五十音順、敬称略）

氏名	所属
井上 博行	福井大学国際地域学部 准教授
桶谷 治寛	技術士・環境計量士
笠井 利浩	福井工業大学 環境情報学部 教授
堤端 充	(特非)ふくい路面電車とまちづくりの会 理事
坪内 彰	技術士・環境計量士
藤原 一功	アースサポーター福井会副会長 福井小水力利用推進協議会理事

## 1. 部会の開催状況

第1回部会 5/12(火)	今年度の事業(①みんなの環境学習 ②ふくい環境ゼミナール ③家庭でできるエコ活動 ④環境団体交流会)について検討した。
第2回部会 10/24(月)	今年度の事業についての中間報告と、これらの反省を踏まえた来年度の事業内容について協議した。
第3回部会 2/7(火)	来年度事業の具体的な取組方法について協議した。

## 2. 事業の実施状況

### (1) 環境啓発・教育事業

#### ①みんなの環境学習(年間4講座) \*計152名受講

内容	<p><b>目的</b> 広く一般市民を対象に、環境に関する初歩的な学習の場を提供する。</p> <p>①5/15(日) <u>参加人数:38名</u> (エネルギー・資源部会連携) 「グリーンカーテンのとっても上手な育て方」 講師: 福井市園芸センター職員</p> <p>②6/4(土) <u>参加人数:23名</u> (自然創造部会連携) 「三里浜の生きもの観察会」 講師: 組頭五十夫氏(福井県自然観察指導員の会)</p> <p>③6/26(土) <u>参加人数:17名</u> 「福井の海岸から見たプラスチックごみを考える」 講師: 高田秀重氏(東京農工大学)</p> <p>④8/7(日) <u>参加人数:74名</u> 「自然エネルギー体験 ソーラーUFOを作ろう!」 講師: エコプランふくい事務局</p>
	

#### ②ふくい環境ゼミナール(通称:ふくゼミ/年間9講座) \*22名受講

内容	<p><b>目的</b> 環境の知識向上を図る(より専門的に学ぶ)機会を作ることにより、環境やまちづくりを視野に入れた地域コミュニティに関する活動の担い手の発掘と人材育成を行う。</p> <p><b>講座</b> 計9講座</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・環境から考える食と農: 地産地消とエコクッキング(岩佐勢市氏/フードヘルス石塚左玄塾)</li> <li>・地球温暖化とエネルギー: 地球温暖化問題と低炭素社会の実現(中川伸二氏/IPCCレポートコミュニケーター)</li> <li>・環境と共生するまちづくり: 環境や防災とまちづくり(加藤哲男氏/名古屋産業大学)</li> <li>・資源循環を3Rと環境影響から考える: LCAから資源循環を考えよう(笠井利浩氏/福井工業大学)</li> </ul>
	 <p style="text-align: right;">など</p>

③家庭でできるエコ活動（4講座） \*延べ75名受講

内容	<p><b>目 的</b> 「家庭でできるエコ活動」について、地域の活動拠点である公民館において講習会を開催することにより、効果的な普及を図る（福井大学と連携）。「ごみの減量化」をテーマに、「家庭ごみ」に多く含まれる生ごみの堆肥化（生ゴミコンポストによる有機肥料の作製）と、その活用について講習会を実施する。</p>
	<p><b>【湊地区（参加人数 ①14名、②13名、③10名）】</b></p> <p>①5/24（火）「生ごみから堆肥・肥料づくり」</p> <p>②7/26（火）「コンポストで出来た堆肥で土作り」</p> <p>③10/4（火）「収穫（ニンジン）と食べ比べ」</p> <p><b>【豊地区（親子16組38名）】</b></p> <p>①5/28（土）「生ごみコンポスト講習会」</p> 

（2）福井市環境フェア「環境団体交流会」（活動発表） [10/8（土）]

**内 容** 環境に関する取組を行う市内の団体が集い、情報の交換・共有を行うことで、各団体が抱えている課題を解決し、活動の活性化と団体同士のネットワークの構築を図った。

（参加団体）

- ・NPO 法人自然体験共学センター
- ・福井県ホテルの会
- ・せいめい夢ファーム会
- ・足羽三山の SATOYAMA を守る会
- ・ふくいライオンズクラブ
- ・森の楽校とようちえん「ぽてころころ」



【その他】

ふくチャリ稼働状況

\*「ふくチャリ」は、自動車に過度に依存しない低炭素なまちづくりを推進するために、当会議が社会実験として平成26年度まで事業を展開

\*平成27年度から、「福井市まちなかレンタサイクル運営協議会」（事務局/福井市自転車利用推進課）により、本格的に運用を開始

	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
貸出ポート数	11カ所	11カ所	14カ所	15カ所
貸出台数	34台	34台	36台	38台
利用回数	2,440回	4,151回	5,517回	6,134回
稼働率	21%	33%	41%	（集計中）
CO <sub>2</sub> 削減効果 （kg-CO <sub>2</sub> ）	1000kg	1700kg	2260kg	（集計中）